

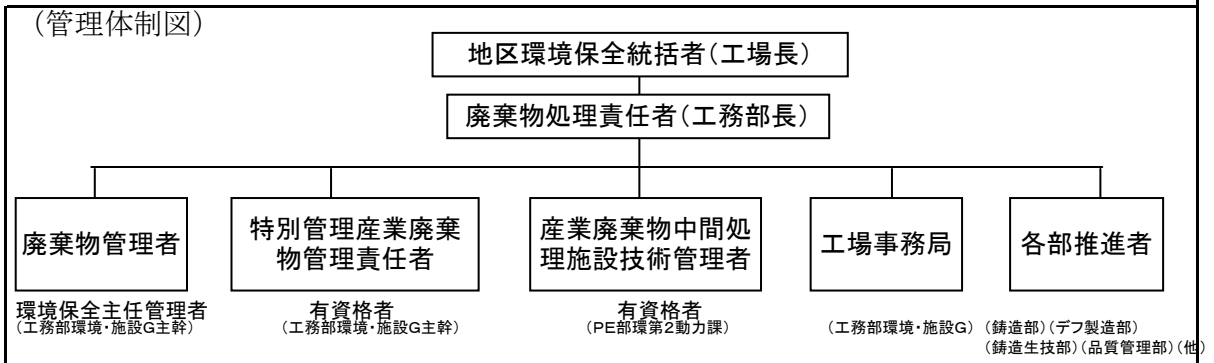
様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
平成24年6月26日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県豊田市トヨタ町1番地 氏 名 トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田 章男 代理 明知工場長 大島 三喜 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0565-28-2121	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物のその処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	トヨタ自動車株式会社 明知工場
事業場の所在地	愛知県みよし市明知町西山1番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事業	
①事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額 5,559,900 万円
③従業員数	1596 人
④特別産業廃棄物の一連の処理の工程	引火性廃油→中間処理業者委託し、焼却 腐食性廃酸→再生業者に委託し、燃料として再資源化 感染性産業廃棄物→中間処理業者に委託し、焼却 廃PCB等→再生業者に委託し原料として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事業



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物排出部署による発生源対策実施	
②計画	【目標(平成24年度)】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・工程内で減容化対策を推進し、引き続き発生源対策を継続	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・腐食劣化による漏洩防止のため廃酸は、ポリ容器(樹脂製)で保管
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・実施予定なし

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまで実施した取組) ・自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に該当するものは無し	
②計画	【目標(平成24年度)】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に該当するものは無し	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
(これまで実施した取組) ・自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に該当するものは無し		
②計画	【目標(平成24年度)】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
(今後実施する予定の取組) ・自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に該当するものは無し		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・当工場においては2000年度にゼロエミ達成済み	
②計画	【目標(平成24年度)】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・できる限り、優良認定業者・再生利用業者への処理を委託	

②計画	【目標(平成24年度)】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・ 工程内で減容化対策を推進し、引き続き発生源対策も継続 発生量を抑制、委託処理量を低減する ・ 他工場、他社とのベンチマーク ・ 優良認定処理業者や認定熱回収業者等を選定する	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分野の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋め立て処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

